

令和元年8月吉日

関係者 各位

平野地区子どもを育む会実行委員長 吉 田 実
福島市立平野小学校校長 重 巢 吉 美
福島市立平野中学校校長 高 橋 政 広

令和元年度 第22回「平野地区子どもを育む会」について（御礼）

秋暑の候、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、過日開催しました「平野地区子どもを育む会」におきましては、ご多忙のところご参加いただき、また多くの貴重なご意見を賜り厚く御礼申し上げます。
つきましては、開催結果の概要を下記のとおりご報告申し上げます。
「育む会」は今年で22回目の開催となりました。
今回実施しましたアンケートについても、たくさんの方のご協力に感謝いたします。
皆様から賜りました貴重なご意見につきましては、学校・家庭・PTAがそれぞれの役割分担を明確にし、必要に応じては関係機関と協議させていただき、より良い方策について検討を重ねて参る所存であります。
今後とも引き続き、夢と志をもった平野の子ども達を育む為の活動に、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 参加人数

地域の方々	23名		
保護者	43名		
教職員	31名	合計	97名

2. 意見の概要（要約）議題「悲惨な事件・事故から子供を守るには」

「交通・登下校に関する事項」

- ・登校場所の交差点など、一時停止を無視する車が多い。（警察署に取締強化を依頼）
- ・ゾーン30のエリア拡大の依頼
- ・ゾーン30でスピード超過の車が多数目撃される。（ゾーン30の意味の理解を高めてもらう）
- ・中学生は部活のため帰宅時間が遅いので、一人で帰らない様に同じ地区まとまって帰宅させる様配慮や工夫をして欲しい。
- ・地域の方々にも夕方買い物等に出る時は、出来るだけ通学路を通っていただきたい。また、下校時刻に庭先に出るなどして、子供達を見守って欲しい。
- ・通学路にも関わらずスピードを出しすぎている車が多く確認できる。
- ・道路に段差を付けてもらうようにして頂きたい（ロードハンプ）

- ・電気自動車など車のエンジン音がしない車も多いことから見守り運動の強化が必要ではないか
- ・平野保育園近くで生徒の歩き方への苦情あり、先生からも直接注意喚起をお願いしたい。
- ・歩きスマホを目撃した事があるので地域で注意をしていきたい。
- ・小学校は集団登校で列になっているが、下校時は危険と感じる事がある。
- ・中学生も横に広がって下校する姿があり危険。
- ・中学校周辺など住宅地が増えて来ると車も増えてくる、住宅地は狭い道路や急な飛び出しなど危険が多く潜む事から注意が必要。
- ・交通量が多い道路を通らない通学路を新設してはどうか。
- ・下校時小学生が左側通行している事があって危険。
- ・高齢者の運転講習会を開いて運転に対する知識を高めてもらう。
- ・横断歩道で待っている生徒がいたら運転者はしっかり停まる様にする。
- ・子供が車や人をよく見て行動させる様にする。
- ・横断歩道での事故が増えている、自転車乗用時のマナーが悪い。
- ・中学校周辺に出来る住宅地付近に新たに信号機設置などの要望を出している。
- ・毎年危険箇所の把握を行い、子供の廻りの環境を意識させる。
- ・登下校のコースを家庭・学校・地域で確実に把握する。
- ・地域で見回りし、街灯が無い場所、カーブミラーの設置をするべきではないか。
- ・高齢ドライバーのマナーや免許返納運動をしてみてもどうか。
- ・町内での街灯の数にも限界がある為、暗いままになっている。
- ・各家庭でセンサー式ライトの設置や室内の光が外部にできるようにカーテンを閉める時間など工夫してみてもどうか。
- ・平野地区では自転車乗車時のヘルメット着用率が低い。ヘルメット着用の意識を高めたい。
(自転車で遠くに行く子もいる為、見守り隊を編成しても良いのでは)

「スマホ・SNSに関する事項」

- ・親も子も使い方を良く知らなくてはならない。
- ・子供へは教育現場での使用方法の指導も必要
- ・学校としては、知らない人には答えないように指導しているのか？
- ・スマホの勉強会を開催して頂きたい。
- ・家庭でのスマホの使用ルールの取り決め、危険に対する認識の共有が必要。
- ・学校との最新の情報と事例の共有が必要ではないか。
- ・メディアに敏感な女子が危険確率が高い為、又は寂しさを埋める為SNS利用率が高い傾向がある。ルールを設けるのが重要。顔をみて会話することに意識を向けてみよう。
- ・保護者が有害サイトのブロックを設定しても、それを外すアプリなども存在している為親を主体としたスマホ研修やお知らせがあると助かる。
- ・メールでは顔が見えなく感情も伝わりにくい為文面については十分注意する事を親子共に確認する。
- ・時間を決め（特に夜間）例えば9時以降はメールの送受信禁止など家庭・学校で意識付けをしてはどうか。決め事として。

「危険箇所・地域に関する事項」

- ・大和田の踏切、協選場の踏切、稗原の集合場所、東邦銀行の交差点など要望はだしているがなかなか改善されない。
- ・八反田川の河川敷の草が伸びている。
- ・ふれあい館の通りに歩道・防犯灯をつけるなど安全対策をしてもらいたい。
連合会から→福島市へ要請
- ・危険箇所を学校でも指導して頂きたい。
- ・石堂地区より 地域の見守り隊が欲しい。
- ・情報の共有 不審者情報などは時間や場所など今より詳しく教えて頂きたい。
- ・地域の方、小学校登下校時の保護者の見守りが欲しい、特に低学年の登下校が危険
高齢の見守り隊の方だけでは限界があると感じた、低学年の生徒が青信号になったと同時に走り出す事があり追いつけない。
目安集3回程見守り協力を頂けると良い。
- ・あいさつ通りなどあると良い
- ・何か気になる様子が見られたら遠慮なく「どうしたの」と声掛けしてもらいたい。
- ・虐待について 見つけたら直ちに児童相談所や警察に通報
- ・平野地区の地域の方でも登録できるように緊急メールシステムの案内配布
熊出没・不審者・台風などの気象情報・登下校時間の変更などの情報共有。
- ・人任せにしないでわが子の安全は親が守るという意識が大切。
- ・全てを学校でやる事は出来ないので地域の方にかかわって頂く仕組み作りが大切。
- ・大人も子供もリスク回避は自分で判断するしかないと思う。
様々なケースを学習させる事が重要。
- ・自然災害のメカニズム（土石流や鉄砲水、竜巻など）を子供と一緒に学習し
ニュースなども子供と一緒に見て身の回りの危険について話しあう事。
- ・不審者に遭遇した際の訓練を定期的に地域の方も含めて行ってはどうか。
- ・110番の家に指定されたお宅でも不在の時がある為、さらなる会員拡大をお願い
してみてはどうか。

【小・中学校先生より】

- ・地域の方々とは生活科や社会科で体験的な活動をしている。
- ・LINEやSNSの使用は出来れば止めさせたい。友達とのトラブルあり（他校とも）
- ・ネット使用年齢が低下している。
- ・まじめで一生懸命な生徒が多い、学年が上がるにつれて落ち着き、実力も上がる傾向がある。
- ・小中連携モデル校として積極的に取り組みしてる。
- ・他の地域には無く連携も取れているので今後も続けていきたい。
- ・SNSのトラブルがおきている。（所持率40%を越えている）
- ・スマホの使用頻度と犯罪や勉強不振が比例してきている。
- ・地域の方々へ積極的に自発的に挨拶実行をお願いしていく。
- ・ネットを使用する生徒が増えてきている（使用時間・使用アプリなど家庭で規制する）
- ・ネットでのトラブルが増えている 生活リズムの乱れ 学力の低下等が見受けられる

【アンケートについて】

開催方法等、一部問題や検討・改善する必要があるかとは思いますが、全体的に有意義であった、との回答をいただきました。

*子供達を取り巻く環境と現状での心配事では、

スマートフォンの普及・SNSでのトラブル・地域としての結びつきの希薄化
新たな住宅地完成からの交通事故の恐れ

が、多く挙げられております。

*会の感想としては

情報を集約しやすくて良い。

子どもの成長を中心として、地域の課題を話し合えるのは大変貴重！

互いの顔がわかる地域づくりを継続していくべき。

保護者が少ない/学校・地域・役員に任せすぎ。

などのご意見を頂戴しております。

今後、アンケートのご意見を参考にさせていただき、より良い「育む会」の形にしていければと思っております。

ご協力ありがとうございました。

3. 小・中学校PTA取り組みについて

(「平野地区子どもを育む会」の意見・要望を踏まえて)

○危険箇所について

小・中学校PTAが主催し「危険箇所点検」を行っております。

毎年7月に北警察署、防犯協会など各団体と共に小中学校PTAが主体となり、育む会で頂いた意見を参考に点検を実施しております。またその際に警察署で対応できる箇所は、要望事項として検討・対応して頂いております。

それ以外に、自治振興協議会を通して福島市へ提案書を提出しております。

提案箇所は、ご存知のように児童・生徒の通学や住民の方など多くの人が利用する道路、交差点で大変危険な箇所です。

交通事故を未然に防ぐための抑止効果を高める対応を要望しております。

また、各町内会からも交通安全、危険箇所、防犯等に関する提案書を、自治振興協議会を通して福島市に提出しております。

○防犯面について

不審者対策としては、「子ども110番の家」の協力依頼、周知徹底、メンテナンス、大型看板の設置に力を入れ、被害を未然に防止できる様に取り組んでおります。

また、緊急連絡網を整備し、いざという時に備えております。

子供達の非行、防犯対策としては、夏休み期間中の夜間巡回パトロールを実施しています。

インターネット犯罪等の対策としては、福島市PTAや、飯坂方部PTAの主催するセミナーに積極的に参加し、PTAの資質向上や子ども達に教える等の対応をしております。

○生活態度、あいさつ等について

あいさつ運動を、朝の登校時に実施しております。（2学期始業日より1週間）

下校時の歩行態度については、学校が中心となって交通指導を行っております。

今後も定期的に、学校・家庭で指導していくよう務めてまいりたいと考えております。